

## 中国と日本の消費者のルイ・ヴィトン評価。 「満足」で中国が日本を上回る

～ブランド力調査。日本、中国、アメリカ、フランスの比較～

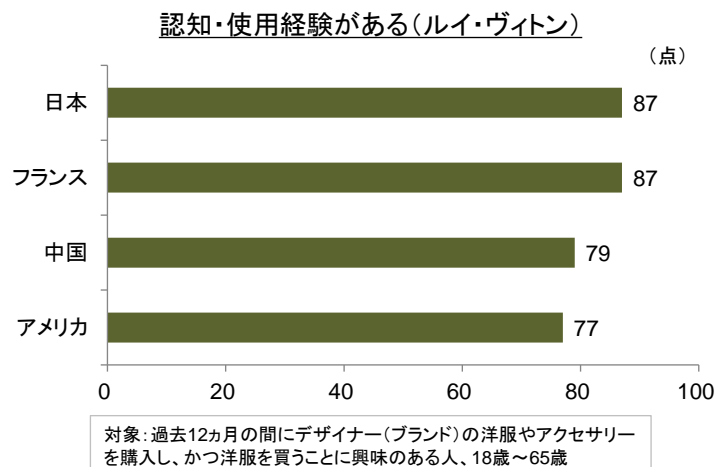
市場調査会社の株式会社カンター・ジャパン(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:大竹秀彦)は、2013年9月から11月にかけて、高級ブランドの認知や評価などについて日本・中国・アメリカ・フランスの4カ国でインターネット調査を行いました。

すると、ルイ・ヴィトンに対し、「満足・このブランドしか買わない」と捉えている人の割合(ポイント)では、中国が一番高いことがわかりました。

- 対象国:日本、中国、アメリカ、フランス
- 対象者:18歳から65歳の男女で、過去12か月の間にデザイナー(ブランド)の洋服やアクセサリーを購入し、かつ洋服を買うことに興味のある人
- 対象者数:日本・アメリカ・フランスはそれぞれ400名、中国は300名

### ■ ルイ・ヴィトンの認知・使用経験はどの国でも高い

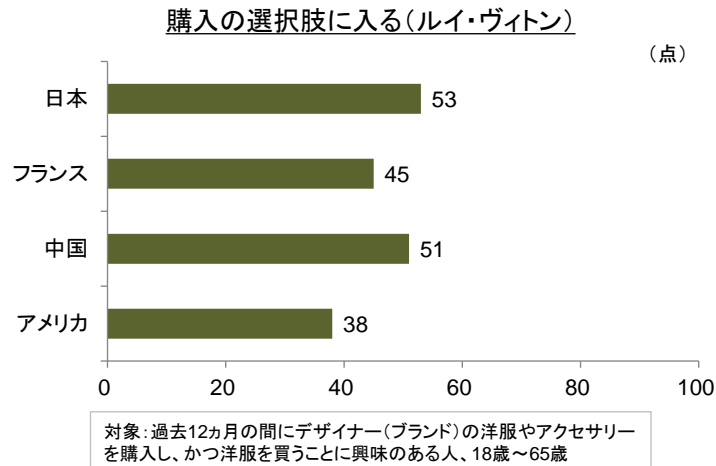
各国の消費者に対し、「ルイ・ヴィトンを知っているか」、「製品を使ったことがあるか」などの質問を行い、それを『認知・使用経験スコア』として100点満点で評価しました。点数が100点に近ければ、「知っている」、「使ったことがある」と回答した人の割合が高く、0点に近ければ、「知っている」、「使ったことがある」と回答した人の割合が低いことを意味します。



すると、日本とフランスが87点、中国が79点、アメリカが77点と概ね高い結果になりました。

## ■ 購入の選択肢に入るブランドとしてもルイ・ヴィトンの数値は高い

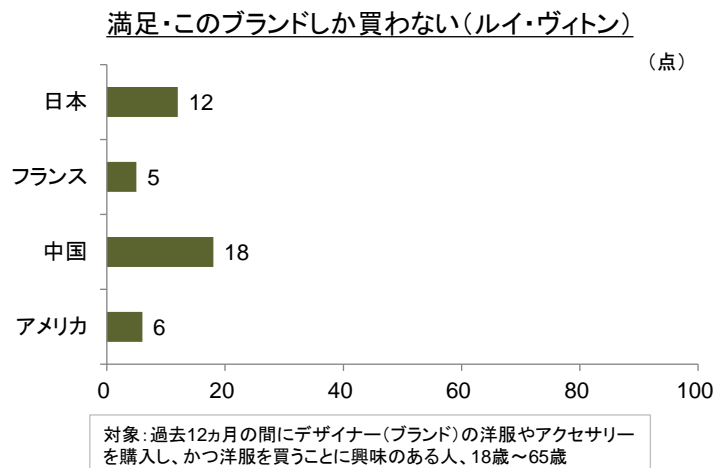
次に、「ルイ・ヴィトン(の製品)を評価しているか」、「購入の選択肢に入るブランドか」などの質問を行い、それを『購入選択スコア』として 100 点満点で評価しました。



すると、日本が 53 点で、中国の 51 点、フランスの 45 点、アメリカの 38 点を上回りました。

## ■ 満足では中国が一番高く、日本がその次に高い

さらに、「ルイ・ヴィトン(の製品)に満足しているか」、「他のブランドよりもルイ・ヴィトンを買いたいと思うか」などの質問を行い、それを『満足スコア』として 100 点満点で評価しました。



すると、中国が 18 点で一番高く、日本の 12 点、アメリカの 6 点、フランスの 5 点が続く結果になりました。

## ■ まとめ

上記調査の『満足スコア』で 10 点を超えるブランドは多くありません。このことから、中国と日本の消費者のルイ・ヴィトンに対する評価の高さがわかります。

## ■ 調査概要

この調査は、カンター・ジャパンのグループ会社であるミルウォード・ブラウン社が年一回実施している製品・サービスブランドに関する調査の一部です。

- 調査名称:『BrandZ(ブランジー)』
- 調査時期:2013年9月から11月
- 調査国:日本、中国、アメリカ、フランス
- 調査対象:18歳から65歳の男女で、過去12ヵ月の間にデザイナー(ブランド)の洋服やアクセサリーを購入し、かつ洋服を買うことに興味のある人
- 対象者数:日本・アメリカ・フランスはそれぞれ400名、中国は300名
- 調査方法:インターネット調査

本文を引用される際は、出典を「カンター・ジャパン」と記してください。

(参考)

この『BrandZ(ブランジー)』の結果は、世界最大の広告会社であるイギリスのWPPグループが毎年行っているブランド価値ランキング(『BrandZ™ Top100 Ranking』)で用いられています。

ルイ・ヴィトンがランキングの100位以内に入り、今年ランキングでは全体で30位、高級ブランド(Luxury)部門で1位でした。

高級ブランド部門のブランド価値ランキング

順位	ブランド名	ブランド価値 (百万ドル)
1	Louis Vuitton (ルイ・ヴィトン)	25,873
2	Hermès (エルメス)	21,844
3	Gucci (グッチ)	16,131
4	Prada (プラダ)	9,985
5	Rolex (ロレックス)	9,083

ブランド価値ランキング(BrandZ™ Top100 Ranking 2014)   
出所:ミルウォード・ブラウン・オブティモア社

## ■ カンター・ジャパン会社概要

カンター・ジャパンは、前身企業から数えると日本で50年超の歴史を持つ市場調査会社です。12の企業(グループ)で構成されるカンター・グループに属し、日本だけでなく海外の消費者調査まで幅広く手掛けています。親会社は、世界最大の広告会社であるイギリスのWPP(ダブリュー・ピー・ピー)です。

- 社名:株式会社カンター・ジャパン
- 本社:東京都渋谷区代々木2-1-1 新宿マインズタワー6F、7F
- 代表取締役社長:大竹秀彦
- 事業内容:市場調査、およびそれに付随するアドバイザリー業務
- ウェブサイト:<http://www.kantar.jp>

### 本件に関するお問い合わせ先

株式会社カンター・ジャパン 広報 東園 E-mail: [Marketing@kantar.co.jp](mailto:Marketing@kantar.co.jp) Tel: 03-6859-3229